

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名 一般国道56号 宇和島道路 <small>うわしまどうろ</small>	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 四国地方整備局												
起終点 自：愛媛県宇和島市津島町岩松 <small>うわしまつしまちよういわまつ</small> 至：愛媛県宇和島市高串 <small>うわしましたかくし</small>	延長 17.5km													
事業概要 一般国道56号は、高知市を起点に、四万十市、宿毛市、宇和島市、大洲市を經由して松山市に至る延長約300kmの主要幹線道路である。南予地域を南北に縦貫するこの路線は、松山方面と南予、高知西南地域を結ぶ四国南部の動脈で、県民の生活基盤としての役割を果たしている重要な路線である。 宇和島道路は、宇和島市中心市街地に集中していた交通量を減少させ交通混雑・渋滞を緩和し、安全で円滑な交通確保を図るとともに、四国の高規格幹線道路ネットワークである「四国8の字ネットワーク」の一部を構成している延長17.5kmの4車線道路である。														
S59年度事業化		S59年度都市計画決定 (H11年度変更)												
S60年度用地着手		S62年度工事着手												
全体事業費 約1,822億円		事業進捗率 64%												
計画交通量 13,700台/日		供用済延長 6.2km												
費用対効果分析結果 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">B/C</td> <td style="width: 20%;">総費用</td> <td style="width: 20%;">総便益</td> <td style="width: 40%;">基準年</td> </tr> <tr> <td>(事業全体) 1.3</td> <td>(残事業)/ (事業全体) 380/1,961億円</td> <td>(残事業)/ (事業全体) 811/2,618億円</td> <td rowspan="2">平成20年度</td> </tr> <tr> <td>(残事業) 2.1</td> <td>事業費：372/1,922億円 維持管理費：8.6/39億円</td> <td>走行時間短縮便益：694/2,146億円 走行経費減少便益：80/341億円 交通事故減少便益：37/131億円</td> </tr> </table>	B/C	総費用	総便益	基準年	(事業全体) 1.3	(残事業)/ (事業全体) 380/1,961億円	(残事業)/ (事業全体) 811/2,618億円	平成20年度	(残事業) 2.1	事業費：372/1,922億円 維持管理費：8.6/39億円	走行時間短縮便益：694/2,146億円 走行経費減少便益：80/341億円 交通事故減少便益：37/131億円			
B/C	総費用	総便益	基準年											
(事業全体) 1.3	(残事業)/ (事業全体) 380/1,961億円	(残事業)/ (事業全体) 811/2,618億円	平成20年度											
(残事業) 2.1	事業費：372/1,922億円 維持管理費：8.6/39億円	走行時間短縮便益：694/2,146億円 走行経費減少便益：80/341億円 交通事故減少便益：37/131億円												
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動： B/C=2.3 (交通量+10%) B/C=1.9 (交通量-10%) 事業費変動： B/C=1.9 (事業費+10%) B/C=2.4 (事業費-10%) 事業期間変動： B/C=2.2 (事業期間+2年) B/C=2.1 (事業期間-2年)														
事業の効果等 ・安全で安心できるくらしの確保（南予救命救急センターへのアクセス向上に伴い救命率が向上） ・物流効率化の支援（重要港湾宇和島港へアクセス向上が見込まれる） ・災害への備え（緊急輸送道路の通行止め時の代替路線を形成）														
他18項目に該当														
関係する地方公共団体等の意見 宇和島道路は、高速ネットワークの南予延伸や国道56号の交通混雑の緩和等が期待されており、宇和島市長、宇和島市議会議長等の周辺自治体及び商工会等から積極的な整備促進要望が続けられている。														
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 H11年5月本州四国連絡道路（尾道今治ルート）開通 H12年7月～H16年3月四国横断自動車道（伊予～西予宇和間）供用 H17年8月に市町村合併（宇和島市、北宇和郡津島町、吉田町、三間町）により新宇和島市が発足。														
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成19年度末で6.2kmを供用しており残事業区間は、平成21年度に7.8km、平成20年代半ばに3.5kmの供用を目指し用地買収、工事を推進している。														
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収、工事の推進を図り、平成20年代半ばに全線供用を図る予定である。														
施設の構造や工法の変更等 トンネル内空断面の縮小（上半三芯円の採用）によりコスト縮減を図っている。														
対応方針 事業継続														
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。														
事業概要図														

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。